

平成27年4月15日（水）

講師：藤本 格

テーマ：君たちに期待するもの

今年度の建築科1年生は33名でスタートしました。これは、40名定員に満たなかったのではなく、62名の受験生の中から選ばせてもらった結果です。選んだ者として、皆さんには大いに期待しています。

今後日本を背負っていく皆さんに、次の事項を心掛けて欲しいと思います。

- ①目上の人に可愛がられること
- ②親に感謝すること
- ③大きな声で挨拶すること
- ④夢を持つこと

私の夢は「カッコいいおじさん」になること。そして、バイクで日本一周をしたい。君たちも大きな夢を持って下さい。



～生徒の感想より抜粋～

- 第1回目のよのなか教室の講師は、日向工業高校の藤本格校長先生でした。藤本先生は前任校でラグビー部を指導し、全国大会まで連れて行ったすごい先生です。私が印象に残った言葉は、「信頼関係をつくる」事と「人は変わる」という事です。何事も信頼がないとやっていけません。信頼を得るために必要なのは「傾聴・感謝・敬意」の3つだと具体的な例を挙げて説明して下さいました。また、新入生の私達に、前のことは全て忘れてゼロからスタートするようおっしゃいました。私も新しい気持ちで高校生活に望みたいと思います。藤本先生の大きな夢も教えて下さいました。私もあのくらいの年になった時に、そんなカッコいい夢を語れるようになりたいです。そのために周りの信頼を得て、大きな人間になりたいです。＜神林 歩＞
- この講話で一番に思ったのは、僕たちの校長先生はこんなにも熱血で、ためになる話をする人なのだということです。初めて顔を見たときはサッカーをやっているようでしたが、実はラグビーの監督だったと聞いて驚きました。試合前には「勝つぞー！」ではなく「負けないぞー！」と声を掛け合うようで、なんだか面白いと思いました。校長先生も勉強が大嫌いだったと言っていました。学校の先生でも嫌いな人はいるのですね。でも、これから大事になっていくと思うので、しっかりと学ばなければなりません。楽する事を選んではいけないという思いを持ってこれから頑張っていきたいです。ためになる話をしていただき、ありがとうございました。＜海野大旗＞
- 今日の話で校長先生は、僕達の足りていない部分を細かく注意して下さいました。挨拶をする事で必ず得をし、しないと損をする事を学びました。このことについて考えてみると、「得」をする事により上司や同僚から優しくされたり、良い待遇を受けたりすることができます。また、「損」することにより採用されなかったり、冷たくあしらわれたりします。得と損は大きな違いがあるのだと感じました。僕も近所ではよく挨拶をしますが、学校などでは少し恥ずかしいという思いもあり、なかなかできませんでした。しかし校長先生は、なにより相手に敬意をはらうことが大事であり、すれ違った時には会釈だけでもすれば、印象は全然違うとおっしゃいました。今回のお話しの中で「一人でも多くの人に大きな声で挨拶ができる人になる」という目標を与えてくれました。この目標を達成できるように、これからどんな場所でも胸を張っていきこうと決めました。校長先生が話されたことを、これから三年間で一つずつ成し遂げていきたいと思います。＜井上一希＞